

看護学生の皆様に先輩の新人看護師さんの様子をご紹介しますニュースレターです。

夏の宿泊合宿レポート

7月には、新人148名と人財育成メンバー・サポートスタッフ25名が参加し、宿泊研修を行いました。今回のテーマは「振り返り」と「自分を見つめ直す」。グループ討議では、それぞれが日々の業務の中で感じたことや悩んでいることを話し合い、意見や想いを共有しました。

グループ
ディスカッション



ランチタイム♪



挨拶コンクール
練習風景



優勝チーム



合宿恒例の挨拶コンクールも開催され、元気で爽やかな挨拶を競い合いました。上位3位までが表彰され、会場は笑顔と拍手に包まれました。

入職して感じたリアリティギャップ

研修の中で、新人さんに「入職してから感じたギャップ」と今後の目標を聞いてみました。

看護師になったら一人ひとりの患者さんとじっくり向き合いたいと思っていたが、実際の現場では目の前の業務で精一杯になり、思うように患者さんとの時間が取れないことも多い。職場としては元気で明るく、困った時は先輩方が声をかけてくれ、自信がつくまで一緒に技術習得を支えてくれる。同期とも仲良しで仕事に対してもみんなで助け合っている。今後は業務に追われないよう余裕を持って取り組み、疾患や患者の個別性を活かした質の高い看護を提供していきたい。

毎日さまざまな手術があるため、想像していたより患者さんと関わる機会が少なく、手術後の経過を追えないことに戸惑いがあった。一方で、手術室は「暗い・閉鎖的」というイメージを持っていたが、実際は明るく、先輩方も声をかけてくださるので安心できた。先生やMEさんに関わる機会も多く、手術室ならではの学びを得られている。知識や技術を身につけながら、患者さんの安全や手術の円滑な進行に自分ができることを考え、いずれは手術後の患者さんの経過も追って看護を提供していきたい。

一般病棟は実習で経験できたが、ユニットケアは初めてで、重症度の高さや緊張感、患者の入れ替えの速さに慣れるのが大変だった。HCUでは人工呼吸器やPMXを使う患者が多く、看護技術だけでなく幅広い知識も習得できる。反省や悔しい思いもあるが、自分にできることが増え、看護の楽しさややりがいを感じる場面も増えてきた。毎日が学びで、新しい知識を吸収しながら前向きに取り組んでいきたい。

看護学生の皆様に先輩の新人看護師さんの様子をご紹介しますニュースレターです。

祭 水の祭典久留米まつり

8月4日、久留米市の明治通りで「第54回 水の祭典久留米まつり」が開催されました。天神会からは、さまざまな施設・多職種あわせて177名が参加しました。各施設で1週間前から練習に取り組み、本番では『そろばん踊り』『そろばんバンバン』『サンバ・で・そろばん』を、総勢1万人の踊り子の皆さんと一緒に披露しました。沿道はたくさんの笑顔と熱気に包まれ、ととにもぎやかで楽しい一日となりました。



山車の盛り上げ隊



院長

新古賀病院の院長も踊り子として参加いただきました！
理事長と一緒に記念撮影

新古賀みなみ病院が天神会グループに仲間入りしました！

2025年6月1日から、久留米南病院が「新古賀みなみ病院」として天神会グループに加わりました。内科・循環器内科・呼吸器内科・泌尿器科・リハビリテーション科など幅広い診療科を備え、慢性期医療を中心とした100床の療養病棟があります。さらに、隣接する「こがケアアベニュー大善寺」には天然温泉を利用した施設もあり、グループ全体で患者さん一人ひとりに合わせた幅広いケアを行っています。これからは天神会の一員として、地域の皆さまに安心と質の高い医療・看護をお届けしてまいります。



一万坪の広い敷地
解放感のある施設



森師長、佐々木師長
井手師長と一緒に♪

平川看護部長が新古賀
リハビリテーション病院みらい
から異動されました！